

第4 具体的な対応の方向性① 対人業務の充実

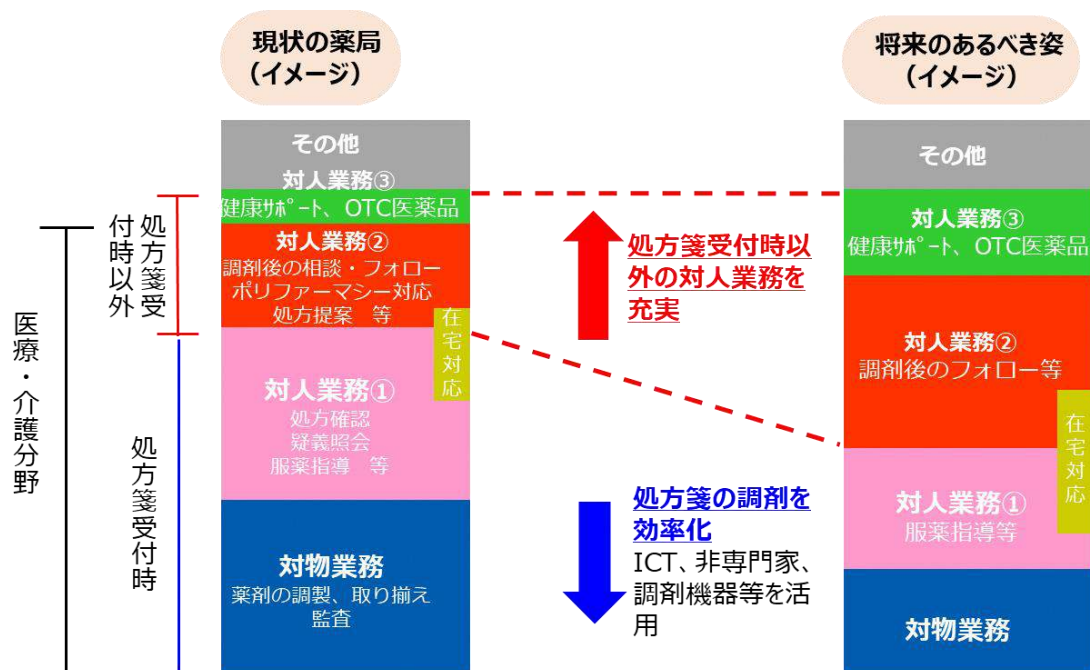
(とりまとめP6～P9)

- 対人業務について、特に処方箋受付時以外の業務^(注)を推進していく必要がある。
- その上で、調剤後のフォローアップの強化、医療計画における5疾病、薬剤レビュー、リフィル処方箋への対応等について、推進すべき対人業務とされた。
- また、対人業務の好事例が均てん化しておらず、そのための方策や課題の収集、分析が必要である。

(注) 調剤後のフォローアップやポリファーマシー等の対応、セルフケア、セルフメディケーションの支援等の健康サポート業務等

基本的な考え方

- 薬局薬剤師の業務は、「処方箋受付時の業務」が主体であったが、「処方箋受付時以外の対人業務」の更なる充実が求められている。
- 対人業務の好事例を均てん化させる必要がある。



具体的な対策 (アクションプラン)

(1) 推進すべき対人業務

- 調剤後のフォローアップの強化
- 医療計画における5疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患）
- リフィル指示された処方箋への対応
→ 手引きの作成、周知等

- 薬剤レビュー
→ 推進に向けた対策を検討

(2) 対人業務に必要なスキル習得

- 勉強会、症例検討会の開催・参加
地域の薬剤師会等が中心となり、地域の基幹病院等と連携するための対策を検討

(3) 均てん化に向けた取組

- 好事例が全国的に普及するための方策や課題の収集・分析
※モデル事業等で実施された対人業務の好事例が均てん化していない。